

新年の
ご挨拶

「100年安心」と自公政権が胸を張って喧伝していた公的年金制度が、「100年安心と言うのは年金制度が向こう100年維持される…という意味で、年金の額がずっと安定的に受給できるという意味では

ない…」といつの間にか変質したのがいわゆる「2000万円問題」です。平均的な無職の高齢夫婦(夫65歳以上、妻60歳以上)では、毎月約5万円の赤字が生じ、夫が95歳になるまでの30年間で約2000万円不足する…と言う金融庁審議会による報告書が報じられたのは6ヵ月程前の事でした。

安倍政権は医療・介護も含めた総合的な社会保障のあり方をどうすべきか国民の不安を取り除くために議論をするのではなく、この報告書自体を「なかった事」にしてしまったのです。麻生太郎副総理は「正式な報告書としては受け取らない」、安倍首相は「乱暴な

議論は国民に誤解と大きな不安を与えるもの」とこそって幕引きを凶ってしまいました。では高齢者の実態はどうなんでしょうか？

「高齢者の貧困率」が以前西日本新聞で報じられ大きな反響が…。

ポーンとしおとでネ!

生活保護と同等の生活水準にも満たない高齢者

を「貧困」と定義し、65歳以上の貧困率を計算したら1人暮らしの場合、男は36%、女はなんと56%と極めて高いことが分かったので

す。こうした現実を公表する事なく、高齢者の医療費負担を増やし介護の対応を地方に回してきたのが現政権。

「100年安心」というまるで未来が明るいかのような幻想で、高齢者はもっと働かされ、もっと税金を取られ、年金支給開始年齢もさらに引き上げられる…ポーンとしてちゃダメですね。

さあ今日は仕事始め。今年も職員一同、力を合わせて頑張らせて頂きます。(2020.1.6)



西馬行政総合事務所

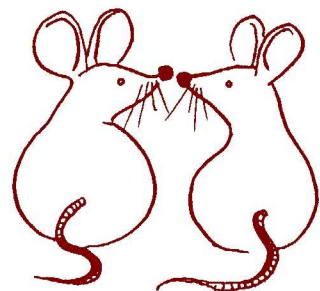
(岩尾勝社会保険労務士事務所)

(西馬良宣行政書士事務所)

TEL 0977-23-5463 FAX 0977-24-1806

<FAXは平日と土曜の6:30~20:00受信可能>

市外からは無料か割安な IP 050-3626-3645



ご鄭重な賀状を当事務所へお出し頂いたお客様には、当『豆ニュース』をもちまして、ご返礼の書状に替えさせていただきます。誠にありがとうございました。本年も宜しく願いいたします。